



宗 像 国 際 育 成 プ ロ グ ラ ム

特別講義参加者募集

参加費無料！

【申込〆切】
10月16日(金)

平成26年（2014年）に設立され、沿岸部に広がる磯焼け、海洋ゴミ問題を中心に「海の鎮守の森」構想を掲げ、海の再生事業に取り組んでいる「宗像国際環境会議」。この会議に参加する為、来宗する様々な分野で活躍する講師が、特別講義を行います。ぜひご参加ください！

【1日目】小学4年生～高校生対象！＜定員：16人＞

10月26日（月）16:00～17:00

会場：福津市勝浦浜海洋スポーツセンター

海の上から感じる環境 ～カヌーで学ぶ海の未来～



カヌーを体験し、海の生態系や自然環境について講師から学びます。海での体験を通して環境の変化や課題に気づき、豊かな海を未来につなぐためにできることを考えます。

高倉 貞幸 日野九十九島神社宮司 かぬ～師

1959年生。長崎県佐世保市の神社で生まれ、佐世保海洋少年団指導者、全国大会のスタッフとして全国4千人の参加団員の宿舎を担当。その頃シーカヤックにハマリ九十九島の魅力に取り憑かれる。平成4年佐世保カヌースクール設立。環境省、自然公園指導員を委嘱され国立公園の保全活動、環境美化活動にあたる。平成18年シーカヤックによる海洋漂着ゴミ拾いの功績により環境大臣表彰。海上保安協力員としても長年の功績により平成30年海上保安庁庁官表彰。その他、海洋漂着物によるリサイクルにも取り組み99島ファクトリーを設立。

■行程

15:45	受付開始
16:00	講師紹介 ライフジャケット着用
16:10	カヌー体験
16:40	片付け開始／着替え
17:00	終了／解散

【2日目】中学生～高校生対象！＜定員：50人＞

10月27日（火）16:40～18:10

会場：福岡県立宗像高等学校（東郷6-7-1）

【第1部 常若甲子園（16:40～17:05）】



常若甲子園の取組を通して、若者が地域の未来を考え、行動することの大切さを学びます。

岸本 吉生 デザインコンサルタント

1962年神戸市生まれ。農山漁村、離島半島の公立小中高校で「動かない希望の星を見つける体験教育」を実践している。ものづくり生命文明機構理事として「常若甲子園」を担当。「ホモデウスと日本」を金融ファクシミリ新聞に連載中。東京大学法学部、コロンビア大学国際関係大学院卒業。

【第2部 海洋ゴミと宗像の沿岸（17:10～17:35）】



宗像の沿岸にどのような海洋ゴミがあるのか、その原因や海の生態系への影響について学びます。

清野 聡子 九州大学大学院准教授

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系助手助教、教養学部広域科学科広域システム分科助手、助教専門を経て現職。専門は沿岸・流域環境保全学、水生生物学、生態工学。漁場の開発と保全の調整、希少生物生息地の再生、地域住民や市民の沿岸管理への参加、水関係の環境計画や法制度。

【第3部 最新技術の地球儀から環境問題を考える（17:40～18:10）】



世界発のデジタル地球儀を使って、環境問題や地球規模の課題を俯瞰して考えます。

竹村 真一 Earth Literacy Program 代表

1959年大阪生まれ。東京大学大学院文化人類学博士課程修了。アジア研究や文化交流プロジェクトに携わった後、92年東北芸術工科大学助教授。日本文化デザイン会議メンバー。文化人類学では、インドをフィールドに民間医療にかんする調査研究（医療人類学）を行っていた。その後、エコロジーやその他様々なオルタナティブな活動を行う人々との出会いを契機に、活動の領域を拡げている。

申込み
詳細はこちら



問い合わせ

宗像市地域教育連携室（グローバル人材育成係）

☎ 0940-36-1169

✉ tkr@city.munakata.lg.jp